様式３(2020.06改)

作成日　令和4年2月8日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372300752
事業所名	グループホーム悠遊荘

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	コロナ禍によって、地域との交流が止まっている。 ホーム周辺は人通りも少なく、散歩に出ても行き交う人は少ない。 利用者の要望があれば、地域のハンバーガショップ等に出向き、テイクアウトで利用者の希望に応えている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議に関しては、新型コロナの感染状況を見ながら、書面開催にするか、対面の通常開催にするかを判断している。 感染状況が落ち着いていた6月と12月に、対面での運営推進会議を行った。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政との連携は、ほとんどが電話、FAX、メール等で行われ、研修もリモートで行われている。 これまで培ってきた良好な関係が継続しており、困ったときには気軽に相談できる体制を整えている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	面会や利用料の支払い等、家族のホーム訪問の機会に意見や要望を聞き取っている。 コロナ禍で、家族面会にも制限(玄関先、短時間等)を設けている。 5分程度の短時間ではあるが、訪れた家族は利用者の元気な顔を見て安心して帰っていく。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

年間6回の運営推進会議が開催されているが、多くは書面開催となっている。
コロナの感染状況が落ち着いていた6月と12月に、対面での運営推進会議を行った。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									